

【ル・ポーセレースレポート】

FIA-F4選手権シリーズ 平木湧也、ドラマチック初優勝。 大胆なセット変更と冷静な走りが奏功。



渡辺直明・文
text by Naoaki Watanabe
写真提供：ル・ポーセ MS

FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP **Le Beausset**
Motorsports



平木湧也

HIRAKI YUYA

茂木町に拠点を置くレーシングチーム「ル・ポーセモータースポーツ(MS)」が、若手ドライバーの登竜門であるフォーミュラカーレース「FIA-F4選手権シリーズ」第10戦でチーム悲願の初優勝を飾った。今季最上位の2位でフィニッシュした同チームの平木湧也が表彰台に立った約4時間後、1位でゴールしたドライバーが追い越し違反で降格となり、平木の繰り上げ優勝が決まるというドラマチックな展開だった。

1位降格で繰り上げ優勝

「表彰が終わった後、(2位から優勝に)繰り上がりそうだという話は聞いていたんですが、なかなか決まらなかった。実際に結果が出るまでは本当にドキドキものでした」。平木湧也は、メモリアルなレースを振り返り、持ち前の人なつこい笑顔になった。

「今季初めての表彰台が初優勝になりました。2位でも今季最上位なので嬉しかったのですが、やはり優勝はもともと、もっと純粹に嬉しかったですね」

8月6、7日に富士スピードウェイ(静岡県)で開催されたFIA-F4選手権シリーズ第5大会。中止と

なったオートポリス(大分県)大会第5戦の代替レースも組み込まれたため、同シリーズで初めての3レース開催(第5戦、第9戦、第10戦)となった。

ル・ポーセMSは湧也とその弟・平木怜次、川合孝汰の3人で参戦。坪松唯夫監督は、今大会の特別ルールである①最終レースの第10戦のスタートイングリッドは第5戦のベストタイム順で決定②タイヤは通常の1セットではなく2セットを使用することができると踏まえ、レース戦略に「初戦の第5戦にニュータイヤを使ってベストラップを出し、上位のグリッドを得て第10戦で勝負」を打ち出していた。

この作戦が奏功し、湧也はベストラップ2番手を獲得し、第10戦にフロントローから挑むことが決定。ただ、第5戦は10位、第9戦は14位にとどまり、本人は「第5戦、第9戦とも調子は決して良くなかった。常にトップにコンマ7ぐらい離され、なかなか差が縮まらない厳しい状況でした」と振り返る。坪松監督も「変わっていく路面の状態にクルマがなかなか追いつかない状況になっていたので、第1戦、第2戦とタイムを出しつつ最終戦に照準を合わせられるようなセッ

ティングに苦心しました」と打ち明ける。

「あきらめずにチャンピオンを目指す」

結果として、「二番手グリッドを取りながら無様な負け方はさせられない」という坪松監督の過去のデータに捉われない大胆なセット変更が湧也の落ち着いた走りを生み出す。好スタートを切った湧也は1コーナーにインから飛び込み、積極的にトップ浮上をうかがうが、その直後に後方で多重クラッシュが発生し、即座にセーフティカー(SFC)導入となった。このSFCランは5周目で終了し、レース再開。ここで完べきなりスタートを決めた湧也は、追い上げを図ってきた3番手に対し、8周目の1コーナーであえて2番手ポジションを譲る作戦に出る。「前で激しいバトルが始まれば、その間隙をついて逆転のチャンスが生まれる」という冷静な読みからだった。

冷静なレース運びの湧也は、その後もベストラップをマークし続け、「勝負どころ」とみた13周目のコーナーで激しく追い上げて2番手に再浮上。そのままフィニッシュした。

第10戦のレース終了は午後6時近く。それから約4時間後の午後10時ごろ、トップでゴールしたドライバーにSCラン中の追い越し違反があったとして湧也の劇的

な繰り上げ優勝が決まった。

ル・ポーセ三銃士のほかの2人にとっては、悔いの残る大会となった。川合は第5戦14位、第9戦13位に終わり、挽回を期した第10戦は10周目に9番手まで順位を上げたものの、最終ラップのヘアピンでの接触が響いて入賞の機会を逸した。平木怜次は第5戦に12位でゴールしたものの、スタートでのオーバーテイク時に走路外走行があったと判定され、ペナルティによるタイム加算で32位に。第9戦は23位、第10戦は後続車両に追突されてリタイアを余儀なくされた。

今回の優勝によりシリーズポイントも「昨年のシリーズポイント」は5位。今季は残り5戦しかありませんが、あきらめずにチャンピオンを目指したいですね」と力強く語る。坪松監督も「今大会はあえてドライバーからコメントをもらわず、自らの感覚だけを信じてセッティングしましたが、タイムは決して悪くなかった。今は決まっていた流れではありませんが、それを後半戦で巻き返したい」と後半戦での巻き返しに意欲を示していた。



スタッフ募集

クルマ好き集まれ!
地元栃木県のレーシング
チームで働きませんか。

職種：レーシングメカニック
仕事の内容：レーシングカーの整備
雇用形態：正社員
学歴：自動車専門学校卒業以上
資格：三級整備士以上
年齢：35歳以下

職種：チームマネージャー
仕事の内容：企画・運営、広報、事務
雇用形態：正社員
学歴：大卒以上
必要な経験：パソコン使える方
年齢：45歳以下

詳細はお問い合わせください。
☎0285-64-1962
【担当：坪松(つぼまつ)】